

臨床研究「骨粗鬆症性椎体骨折の保存療法における成績不良因子の特定」について

筑波大学附属病院整形外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

骨粗鬆症性椎体骨折の保存療法における日常生活動作の低下につながるリスク因子を解析すること。

② 研究対象者

骨粗鬆症性椎体骨折で、受傷後2週以内に治療開始となった単椎体の症例。対象患者は共同研究者が所属する医療機関（県北医療センター高萩協同病院と総合病院水戸協同病院）に入院した患者。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年12月31日まで

④ 研究の方法

障害高齢者の日常生活自立度（4段階）が1段階以上低下した例と手術移行例を「日常生活動作低下」と定義し目的変数とする。単変量解析と先行研究より説明変数を設定し、ロジスティック回帰による多変量解析を行う。

⑤ 試料・情報の項目

診療の過程で取得された下記項目

1. 年齢、性別、身長、体重、受傷機転および既往疾患
2. MRI以外の画像検査として単純X線とCT
3. 骨粗鬆症評価における標準検査である骨密度（DEXA法）と骨代謝マーカー（TRACP-5bとP1NP）および25OHビタミンD
4. 受傷前のADL評価（介護保険申請で用いられる「障害老人の自立度判定基準」を用いる）
5. 入院時Euro-QOL（本骨折の標準的な患者立脚型QOL評価法、疼痛VASも含まれる）

⑥ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載） なし

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学医学医療系整形外科講師 船山徹

⑧ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学医学医療系整形外科 船山徹

県北医療センター高萩協同病院 竹橋広倫

総合病院水戸協同病院 辰村正紀

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：整形外科 船山徹（平日9～17時）

電話 029-853-3219/FAX029-853-3162/Mail funatoru3@md.tsukuba.ac.jp